

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所 どーむ				公表日	年	月	日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	グループ分けをし、十分なスペースを確保しています。	少人数で使うには広いため、適切なスペースとなるよう検討していきます。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		4	2		職員配置は満たしています。引き続き、丁寧な支援を行うために適切な人員配置をしていきます。			
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		6		視覚支援、分かりやすい動線、集中しやすい環境設定をしています。	引き続き、分かりやすい環境となるよう、適切な配慮を行っていきます。			
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		5	1	毎日の清掃、アルコール消毒を行っています。おもちゃの消毒、破損等のチェックを行っています。	引き続き、環境整備に努めていきます。			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5	1	お子さんの様子に応じて、個別の部屋を使用し落ち着いた過ごしができるように進めています。	引き続き、より良い支援となる様に努めていきます。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		朝礼・終礼時に職員間でお子さんの様子を共有しています。	引き続き、より良い支援となる様に努めていきます。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		いただいた評価やご意見を職員に周知し、改善につなげています。	様々なご意見を伺い、改善につなげ、より良い支援ができるように努めていきます。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		事務業務の効率化等を検討し、改善につなげ支援スキルの向上に充てる時間の確保に努めています。	引き続き、より良い支援となる様に努めていきます。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		外部評価は法人として検討を進めています。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		年2回の職員研修の他、法人で実施する研修に全職員が参加しています。	引き続き、支援力の向上に努めていきます。			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ガイドラインに沿った支援プログラムを作成し、HPで公表しています。	引き続き、より良い支援ができるよう努めていきます。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		お子さんの様子を把握し、お子さん、保護者のニーズや課題を捉え、個別支援計画を作成しています。	引き続き、より良い支援となる様に努めていきます。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		会議の中で検討し作成しています。	全職員が共通認識のもとに支援を進めていきます。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		支援計画に沿った支援となる様に、会議や日々の打ち合わせ時に確認しながら進めています。	引き続き、適切な支援となる様に努めます。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		市・町で実施した発達検査の結果から発達状況を把握し、個別支援計画の作成に活かしています。日々の記録を丁寧に様子把握しています。	引き続き、適切な支援となる様に努めます。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインに沿って目標の設定をしています。	引き続き、お子さんの特性や発達状況を踏まえ5領域に関する具体的な支援内容を設定していきます。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		複数の職員で立案し修正を行いながら、お子さんが意欲的に取り組みに向かえるように進めています。	引き続き、より良い支援となる様に努めていきます。			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	お子さんの様子を振り返りながら、意欲的に取り組める内容を検討し進めています。	楽しく活動できるように工夫していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	お子さんの状況により、個別、集団活動の優先順位は異なりますが、発達の様子に合わせた支援を行っています。	計画に沿った支援ができるよう取り組んでいます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼で活動の流れ、役割分担、配慮事項を確認しています。	お子さん一人一人が安心して過ごせる様に努めています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		終礼で様子や支援の振り返りを行い、共有しています。	引き続き、丁寧な打ち合わせを行い、支援に活かしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		成長の様子や支援方法が分かるように記録をとっています。	引き続き、より良い支援ができるよう努めています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		概ね6ヶ月に1度の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者、担当者など適任者が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		市・町の発達相談、保健師と情報共有を行っています。	引き続き、関係機関と連携し、適切な支援となる様に努めます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		併行通園先と連絡を取り合い、様子の共有をし整合性のある支援となる様に努めています。	引き続き、連携をとり適切な支援となる様に努めます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		就学前に教育委員会との情報共有を行っています。	卒業後のフォローアップについては、ご家族や所属の小学校の意向に合わせ、必要に応じて行えるよう取り組んでいく予定です。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	併行通園のお子さんが多いので交流の機会は設けていません。	今後、必要に応じて実施を検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳、送迎時のお話しなどを通してコミュニケーションをとり様子の共有をしています。	引き続き、密にコミュニケーションがとれるように努めています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	市で開催されるペアトレや研修の情報を提供しています。	職員研修を実施し事業所でも開催できる体制を整えられるように努めています。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明しています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		面談で意向を伺い、ニーズを踏まえ支援計画を作成しています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		支援計画の内容と一緒に確認し、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		年に3回の定期面談と必要に応じて面談を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		年に3回、茶話会を開催し保護者同士の交流の機会を設けています。	保護者の方のご意見、ご要望を伺いながら多くの方が参加しやすいように内容を検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		必要に応じて面談を実施しています。迅速な対応となる様に努めています。	引き続き、迅速な対応に努めています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		月に1回のどーむだより、法人のHP、広報誌で発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			今後もしっかりと取り組んでいきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		言葉と共に視覚支援ツールを使用するなど、分かりやすい方法でコミュニケーションを取っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		法人主催の祭りを、事業所敷地内で行っています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアルを作成し廊下に備え付けてあります。各種訓練や研修を定期的に職員に実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		月に1回、避難訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		利用開始時に健康状況票に記入していただき確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	契約時に必ず確認しています。現在は対象となるお子さんはいません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			安全計画に基づき、事業所の取り組みについて周知に努めます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		記録に記載し、終礼時に職員で共有し再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		法人で実施する研修に参加しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1	現在、対象となるお子さんはいません。	法人で虐待防止・身体拘束適正化委員会を設置しており、検討を行う体制をとっています。	